

富山県鉱工業生産の動き

～ 平成16年(2004年)11月分 ～

総合指数

平成12年(2000年) = 100、季節調整済

	16年11月	前月比(%)	前年同月比(%)
生産指数	104.1	3.3	2.0
在庫指数	99.8	1.9	2.0

1 生産指数(季節調整済指数)は104.1と前月に比べ3.3%上昇し、4ヵ月ぶりに上昇した(図表)。

これは13業種中、一般機械工業、電気機械工業など4業種が低下したものの、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業など8業種が上昇したためである。

業種別にみると、化学工業は医薬品などの増加により前月比11.8%上昇の122.6となり、パルプ・紙・紙加工品工業は紙などの増加により前月比8.0%上昇の94.0となった。他方、一般機械工業が金属工作機械などの減少により前月比7.3%低下の116.5となり、電気機械工業が集積回路などの減少により前月比1.8%低下の115.0となった。

この結果、13業種中、平成12年基準の指数100を上回っている業種は、化学工業(122.6)、一般機械工業(116.5)、電気機械工業(115.0)、非鉄金属工業(114.9)、プラスチック製品工業(107.8)、鉄鋼業(104.3)の6業種となった。

なお、前年同月比(原指数)は2.0%上昇し、2ヵ月ぶりに前年を上回った。

2 在庫指数(季節調整済指数)は99.8と前月に比べ1.9%低下し、2ヵ月ぶりに低下した(図表)。

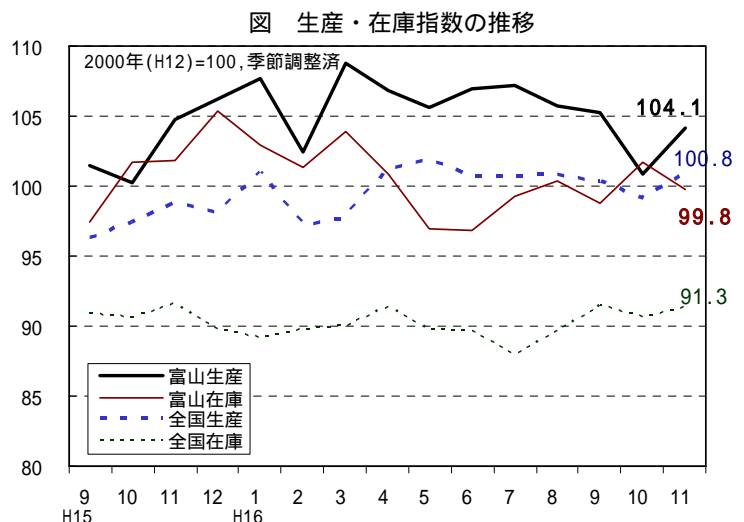
これは13業種中、一般機械工業、金属製品工業など6業種が上昇したものの、電気機械工業、化学工業など7業種が低下したためである。

なお、前年同月比(原指数)は2.0%低下し、3ヵ月ぶりに前年を下回った。

指数の動き

平成12年(2000年)=100、季節調整済指数

	富山県		全国	
	生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数
平成15年 9月	101.5	97.5	96.4	90.9
10月	100.2	101.7	97.5	90.6
11月	104.7	101.8	98.8	91.6
12月	106.2	105.4	98.2	89.8
平成16年 1月	107.7	102.9	101.0	89.1
2月	102.5	101.3	97.2	89.7
3月	108.8	103.9	97.8	90.0
4月	106.8	100.9	101.2	91.3
5月	105.6	97.0	102.0	89.7
6月	107.0	96.8	100.7	89.6
7月	107.2	99.3	100.7	87.9
8月	105.7	100.4	100.8	89.6
9月	105.3	98.8	100.4	91.5
10月	100.8	101.7	99.1	90.6
11月	104.1	99.8	100.8	91.3



・問い合わせ先: 富山県経営企画部統計調査課 TEL 076-444-3193(直通)

・次回公表予定日: 平成17年2月22日(火)

・「富山県鉱工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」でご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/>

平成16年11月分 業種別の主な動向

主な業種は寄与率（全体に与える影響）の大きい順に掲載
ウェイトは10000分比で算出

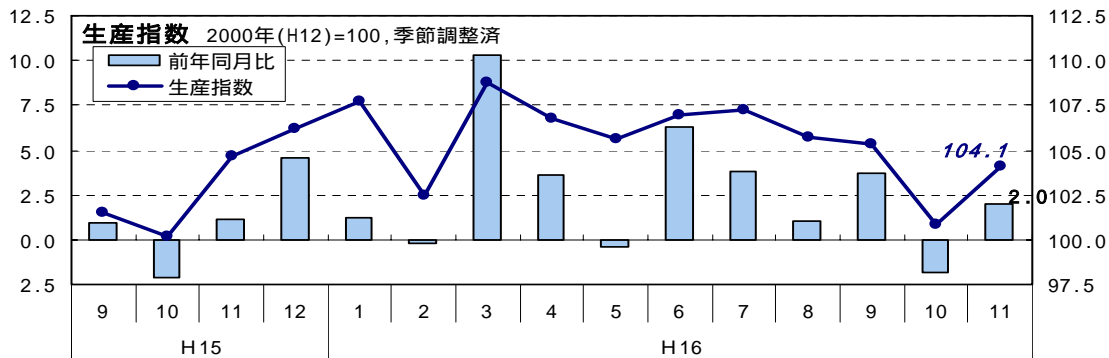
<生産> (指数 104.1 (前月比+3.3%))

上昇した業種(8業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)	寄与した主な品目
化学工業	1946.3	122.6	11.8	16.4	医薬品など
パルプ・紙・紙加工品工業	526.5	94.0	8.0	0.2	紙など
繊維工業	506.6	88.3	8.3	3.7	その他繊維製品など

低下した業種(4業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)	寄与した主な品目
一般機械工業	819.7	116.5	7.3	25.2	金属工作機械など
電気機械工業	1631.2	115.0	1.8	16.6	集積回路など
非鉄金属工業	527.4	114.9	5.0	3.1	アルミニウム二次精錬など



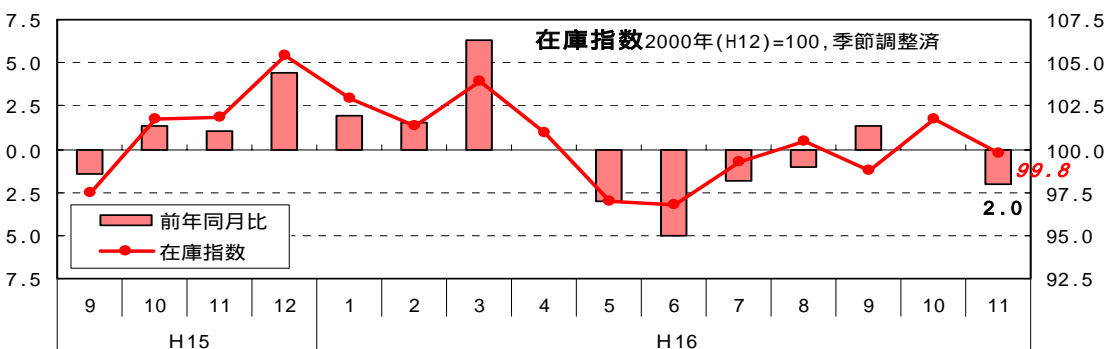
<在庫> (指数 99.8 (前月比 1.9%))

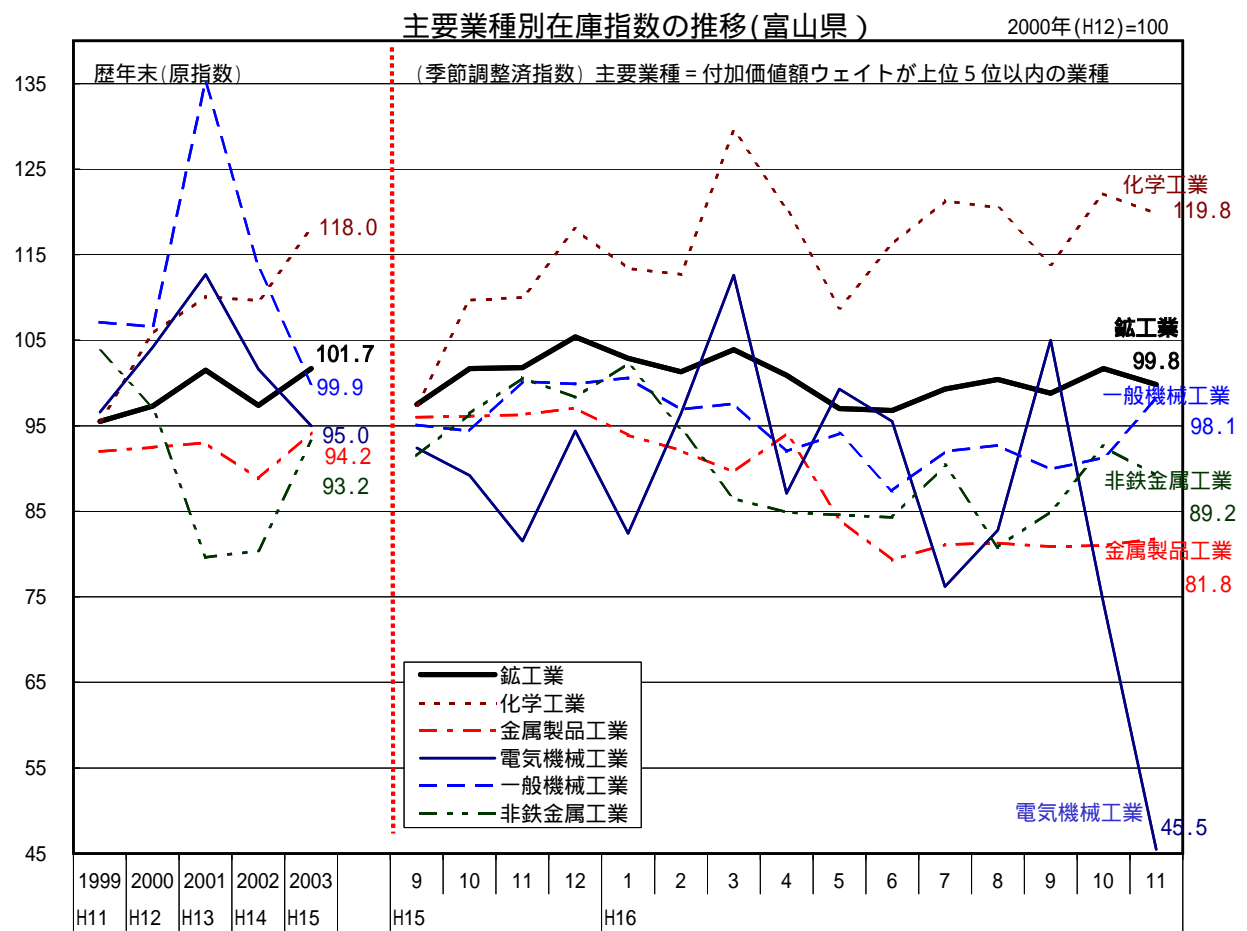
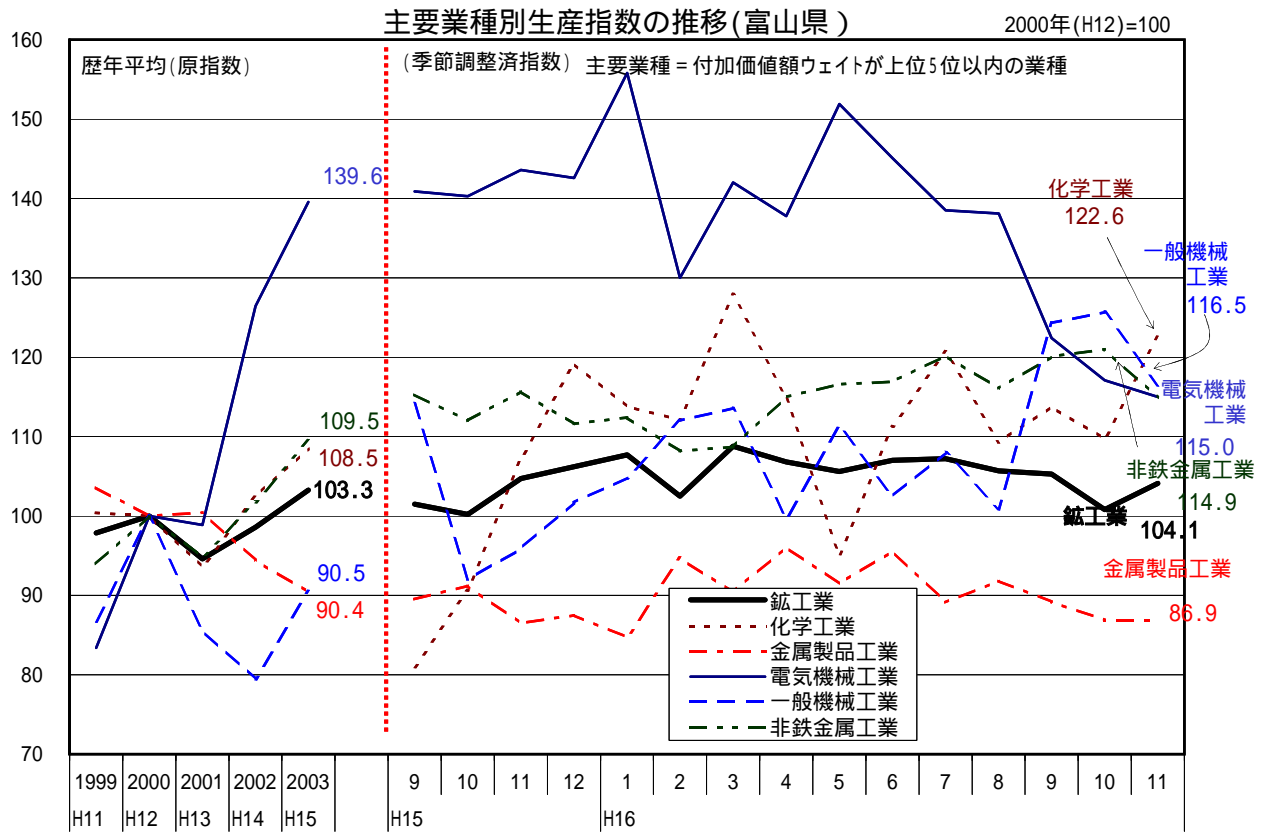
低下した業種(7業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)	寄与した主な品目
電気機械工業	270.1	45.5	38.8	44.1	回転・静止電気機器など
化学工業	2329.6	119.8	1.9	8.9	医薬品など
プラスチック製品工業	731.2	93.6	5.2	10.9	日用品雑貨など

上昇した業種(6業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)	寄与した主な品目
一般機械工業	513.7	98.1	7.4	2.1	軸受など
金属製品工業	2190.9	81.8	1.0	15.0	金属製建具など
その他の工業	450.2	108.6	3.7	3.7	その他製品工業など





鋳工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鋳工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鋳工業の動向を総合的に把握することを目的とする。

2 基準時及びウェイト算定年次

指数の基準時は平成12年(2000年)である。したがって、指数値は平成12年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成12年の産業構造により作成されている。平成12年基準は、平成15年9月19日に公表し、同年7月分指数から適用するとともに、平成10年(1998年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

分類は、日本標準産業中分類(若干の組み替えを行っている)に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類(財別)」の2つの分類による。

4 指数の種類及び採用品目数

	採用品目数				ウェイト算定基準
	計	製造工業	鋳業	電力・ガス事業	
生産指数	209	206	1	2	付加価値額
生産者製品在庫指数	147	146	0	1	在庫額

- ・生産指数(付加価値額ウェイト) 生産活動の生産水準の動き
- ・生産者製品在庫指数 生産製品が出荷されずに生産者段階に残っている在庫の動き
受注生産等で在庫を把握する必要がないものや、在庫の把握が極めて困難で数値が得られない品目があるため、生産者製品在庫指数の採用品目数は、生産指数より少ない。特殊分類は、財用途が2財にわたる(4品目)ものはウェイトを分割して各財毎に集計しているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致していない。また、採用単位は、製品数量単位及び製品固有単位を基本としている。

5 総合指数の算式

総合指数の算式は、品目別指数を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)による。具体的には次のとおり。

$$I_t = \frac{\sum P_{io} Q_{it}}{\sum P_{io} Q_{io}} = \sum \frac{P_{io} Q_{io}}{\sum P_{io} Q_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right] = \sum \frac{W_{io}}{\sum W_{io}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{io}} \right]$$

$I_{t, \dots, t}$ 時点の総合指数

$P_{io, \dots}$ 品目別平成12年平均単価(生産指数は品目別平成12年平均付加価値単価)

$Q_{io, \dots}$ 品目別平成12年1ヶ月平均数量(基準数量)

$Q_{it, \dots}$ 品目別比較時数量

$W_{io, \dots}$ 品目別平成12年ウェイト(ウェイトは鋳工業に対する万分比)

6 季節調整方法

センサス局法(X-12-ARIMA)を採用

季節調整済指数 = 原指数 ÷ (季節指数 × 曜日・祝祭日指数)

平成16年1月以降の季節指数は、平成15年の季節指数を適用している。

7 その他

本書記載の数値を転載するときは、「富山県鋳工業生産の動き」による旨を明記してください。この月報の前月公表値が修正報告により若干変更されている場合があります。内容についてのお問い合わせは、下記あてにお願いします。

〒 930 - 8501 富山市新総曲輪1番7号
富山県 経営企画部 統計調査課 商工係
Tel:076 - 444 - 3193(直通) / E-mail: tokei4@pref.toyama.lg.jp